

議決された主な議案等

※2月定例会では、市長提出議案35件、委員会提出議案1件、議員提出議案3件、陳情4件の採決を行いました。
※3月臨時会では、2月定例会で原案可決された議会議案第12号に関し市長から再議に付された件について、採決を行いました。
※下記以外の議案等への賛否については、議会事務局へお問い合わせください。 ○：賛成 -：反対 欠：欠席 退：退席

Table with columns for Party Name (会派名), Member Name (議員名), Main Proposal (主な議案), and Decision Result (議決結果). It lists various proposals such as amendments to the Fire Department regulations, budget adjustments, and personnel changes, along with the voting status of each council member.

※ 令和4年(2022年)3月3日付で「公明党鎌倉市議会議員団」の代表者は納所輝次議員に変更。

2月定例会

2月定例会では、委員会から1件、議員から35件の議案が、また市長から35件の議案が提出されました。

主な議案の内容および議会における議決結果は次のとおりです。

《委員会提出議案》

山ノ内交番の統合(廃止)の計画見直しを求めることに関する意見書の提出について【議会議案第10号】(意見書の本文は3面に掲載)

市民環境常任委員会から議案が提出されました。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

《議員提出議案》

ロシアによるウクライナ侵攻に断固抗議することに関する意見書の提出について【議会議案第11号】(意見書の本文は3面に掲載)

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

鎌倉市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の制定について【議会議案第12号】

12月定例会において議決した「鎌倉市生涯学習センター条例の一部を改正する条例」では、集会室等の利用区分について、従前の午前・午後・夜間の3区分から、2時間ごとの5区分に改められ、当該規定の施行日は令和4年10月1日とされています。

この利用区分の改正について、利用団体等から、活動が制約され、活動の継続に支障を来すとの声が多く寄せられたことを踏まえ、従前の3区分に戻すなどの改正を行うお

とすもので、公布の日から施行しようとするものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

なお、本件は3月臨時会において再議(※)に付され、採決の結果、この議決のおり決定することを否決しました。詳しくは、下記の「3月臨時会」の内容をご覧ください。

《市長提出議案》

条例関係議案 鎌倉市消防団員の定員、任用、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について【議会第77号】

消防団員の年齢制限の上限を撤廃するとともに、消防団員の懲戒処分の手続きについて、鎌倉市職員の懲戒の規程及び効果に関する条例の規定を準用しようとするもので、懲戒処分に係る改正規定は公布の日から、年齢制限の上限撤廃に係る改正規定は令和4年4月1日から施行しようとするものです。

議会では、総員の賛成により、原案を可決しました。

鎌倉市子どもの家条例の一部を改正する条例の制定について【議会第97号】

令和5年度から「鎌倉市にかいどう子どもの家「めだか」および「鎌倉市いなむらがさき子どもの家「いなほ」」を新たに指定管理施設とすることにより、市内全16小学校区の施設を指定管理施設として運営することとなるため、必要な事項を定めるとともに、公の施設における受益と負担の公平性や公正性の確保のため、子どもの家利用料を段階的に引き上げるほか、利用実態に合わせて利用時間を改め

ようとするものです。

なお、指定管理に関する事項および利用時間の改正規定は令和5年4月1日から、利用料上限額の段階的な引き上げに係る改正規定は令和5年、令和6年、令和7年の各4月1日から施行しようとするものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

補正予算

一般会計補正予算(第14号) 【議会第78号】

財産管理事務および障害者福祉サービス事業などの所要の経費を追加するとともに、私立保育所等整備事業および児童手当支給事業などを減額しようとするもので、歳入歳出とも8億4408万円を増額し、補正後の総額は683億5802万5千円となります。

また、増額する経費の一部については繰越明許費を設定しようとするものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

一般会計補正予算(第15号) 【議会第79号】

本庁舎整備基金積立金、小児に対する新型コロナウイルスワクチン接種に係る経費、鎌倉芸術館受水槽修繕に係る経費などを追加しようとするもので、歳入歳出ともに4億5346万1千円を増額し、補正後の総額は688億1148万6千円となります。

また、増額する経費の一部については繰越明許費を設定しようとするものです。

議会では、多数の賛成により、原案を可決しました。

《人事案件》

副市長の選任 【議会第104号】

鎌倉市副市長に次の方を選任することについて、多数の賛成により同意しました。

比留間 彰氏(横浜市在住) 任期は、令和4年4月1日から4年間です。

3月臨時会

3月18日開催の本会議において議決した「議会議案第12号 鎌倉市生涯学習センター条例の一部を改正する条例の制定について」に関し、市長から、議決に異議があるとして、地方自治法第176条第1項の規定に基づき、再議に付すため再議書の提出があり、3月25日に臨時会を開催しました。

令和3年度に初めて挑戦したオンライン議会報告会ですが、令和4年度は対面とオンラインの両方の形態での実施が決まりました。意見聴取会のテーマは「多世代をつなぐ地域コミュニティ」とし、地域の活力を市全体に広めていくための自由闊達な意見交換の場にできればと考えています。令和4年4月からは成人年齢が18歳になります。若い世代の方にも議会報告会に参加していただく声を受けてほしいという思いから、市内の学校への広報も進めています。市民の皆さまと一緒に作る鎌倉市議会を目指しています。ぜひ報告会にご参加ください！あなたのご参加をお待ちしております！

議会では、再議に付した理由に対する質疑、ならびに討論を経て、議長も参加した上で採決を行った結果、3月18日の議決のとおり決定することと賛成した議員は13名であり、出席議員25名(退席1名あり)の3分の2である17名に達しなかったため、3月18日の議決のとおり決定することとは否決され、議会議案第12号は廃案となりました。

再議の件

議会では、再議に付した理由に対する質疑、ならびに討論を経て、議長も参加した上で採決を行った結果、3月18日の議決のとおり決定することと賛成した議員は13名であり、出席議員25名(退席1名あり)の3分の2である17名に達しなかったため、3月18日の議決のとおり決定することとは否決され、議会議案第12号は廃案となりました。

用語の解説

※再議 議会の議決に異議があるとして、市長が議院に審議のやり直しを求めるもので、この場合、当該議決は議決のときにさかのぼって、議決がされ

なかつたものと同様の状態となる。

条例の制定・改廃または予算に関する議決に異議があるとして再議に付されたときは、出席議員の3分の2以上の同意を得ることにより、当該議決が確定する。

副議長の選任

副議長の辞職に伴い、2月17日の本会議において、副議長選挙が行われ、大石和久議員が選出されました。

編集後記

令和3年度の定例会が全て終了しました。新人議員たちはこの濃い1年を通してさまざまな経験を、議員としてたくましくなりました。令和3年度に初めて挑戦したオンライン議会報告会ですが、令和4年度は対面とオンラインの両方の形態での実施が決まりました。意見聴取会のテーマは「多世代をつなぐ地域コミュニティ」とし、地域の活力を市全体に広めていくための自由闊達な意見交換の場にできればと考えています。令和4年4月からは成人年齢が18歳になります。若い世代の方にも議会報告会に参加していただく声を受けてほしいという思いから、市内の学校への広報も進めています。市民の皆さまと一緒に作る鎌倉市議会を目指しています。ぜひ報告会にご参加ください！あなたのご参加をお待ちしております！



大石 和久 副議長

議会広報委員 藤本あさこ